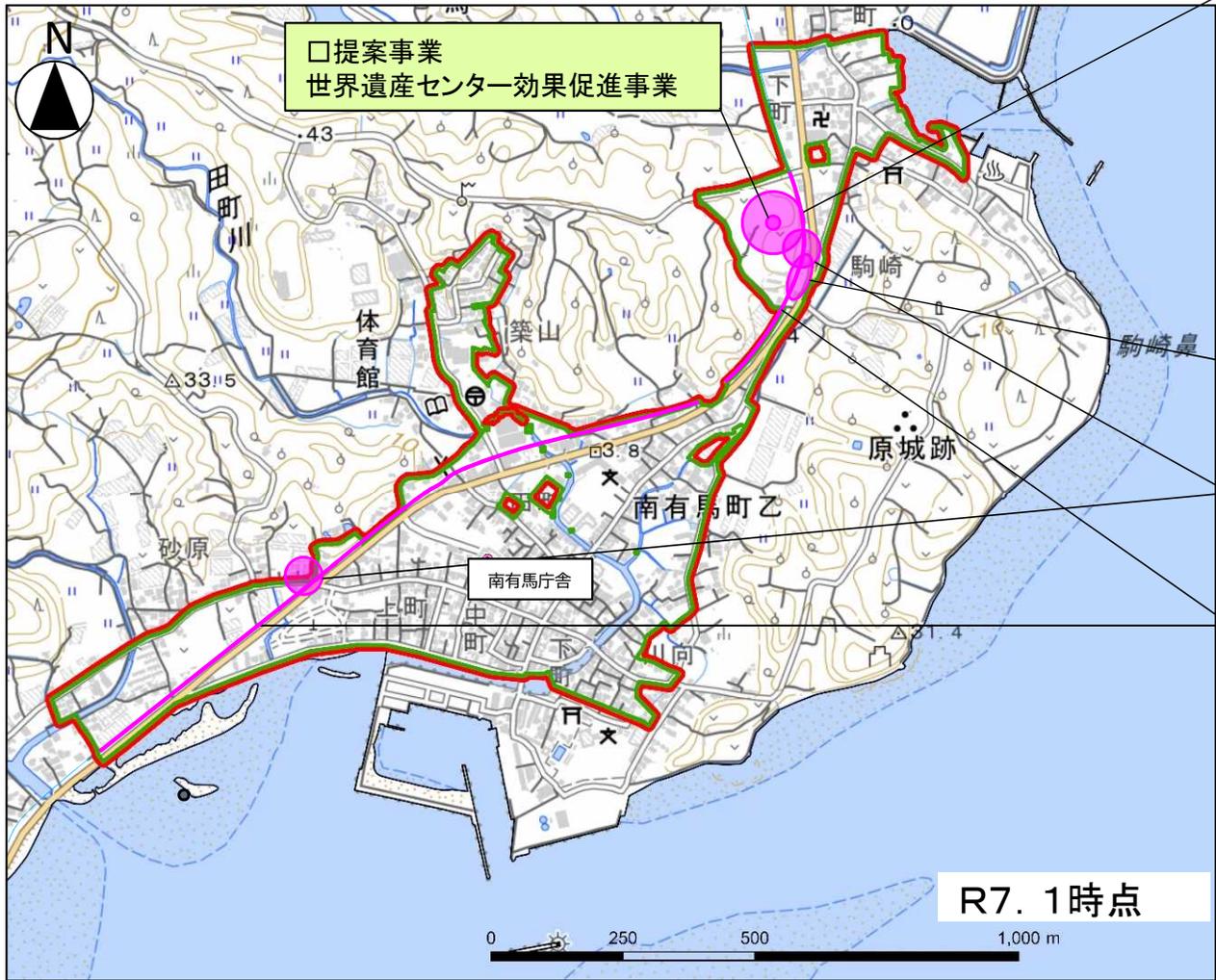


南有馬地区都市構造再編集集中支援事業(長崎県南島原市)

- ◆事業概要: 世界遺産を所有する地域として観光客と市民の交流の場を創出していく。また、市内を横断する自転車歩行者専用道路の中心部である地域であるため、交流スペースの創出を行い、地域交流の拡大によるまちなかの賑わいを創出していく。
- ◆事業主体: 南島原市 ◆面積: 50.0ha ◆交付期間: 令和7年度～令和9年度 ◆広域的な立地適正化の方針公表時期: 令和7年3月
- ◆全体事業費: 55.0百万円 ◆交付対象事業費: 55.0百万円(国費: 27.5百万円) ◆国費率: 50.0%



南有馬地域は都市計画区域を有しない地域であり、立地適正化計画において地域生活拠点地域を定めている。



○関連事業
世界遺産センター整備事業
(令和8年度内完成予定)



■地域生活基盤施設
(原城前広場)
R7年度実施事業: 用地

■道路
(照明施設)
R7年度事業内容: 本工事

■高質空間形成施設
(景観照明)
R7年度事業内容: 本工事

□: R7年度事業箇所

- : 都市再生整備計画の区域
- : 地域生活拠点
- : 基幹事業
- : 提案事業
- (参考)
- : 関連事業

○関連事業
市道南島原自転車道線
整備事業(R2～R7)
L=32.1km



みなみありま

南有馬地区都市再生整備計画事業

(都市局所管補助金)

1. 概要

本地区は長崎県の南東部に位置する南島原市の観光拠点となる地域である。世界遺産を保有する地域として市の宝を未来へ継承していき、市の魅力を発信していく地域であるが、情報発信を行う場や、観光客が賑わう場が不足している。

このことから、本地区に訪れる観光客を増やす取り組みや、訪れた人の満足度を上げるために、道路事業や高質空間形成事業、世界遺産センター設立に伴う活性化事業を行い、賑わいのあるまちづくりを行っていく。

令和7年度は自転車歩行者専用道路の道路照明設備と景観照明の整備、原城前広場の整備事業を行う。

2. 計画内容

所在地：長崎県南島原市

事業主体：南島原市

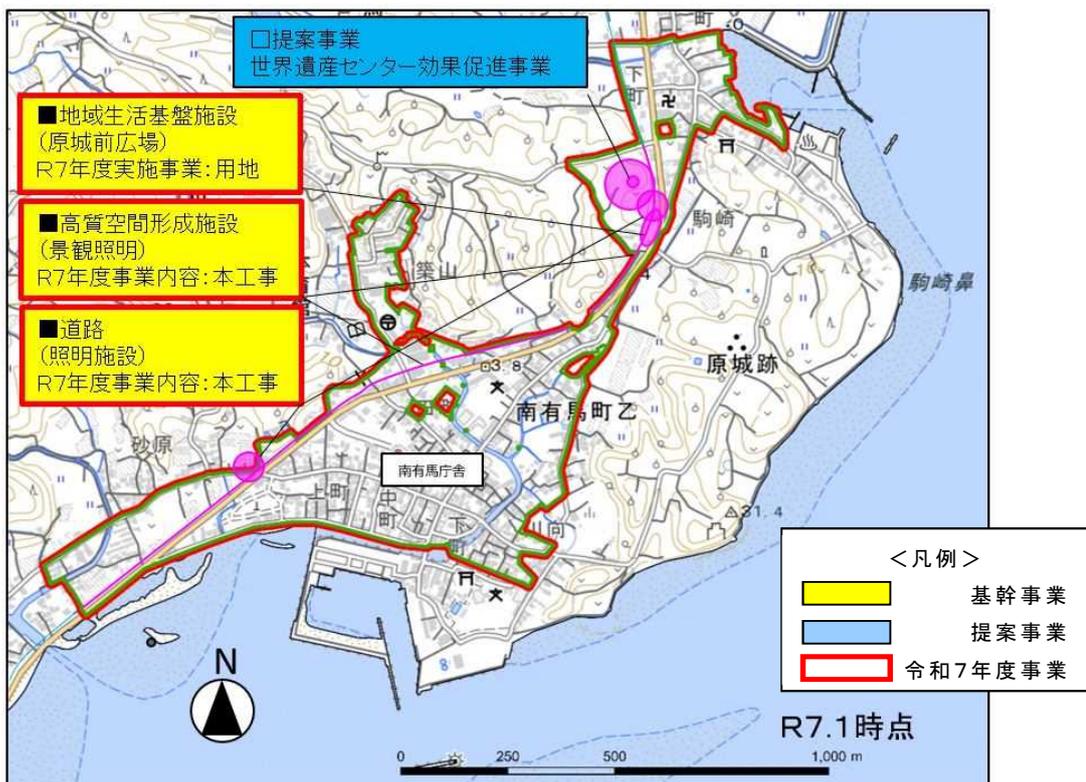
面積：50.0 ha

交付期間：令和7年度～令和9年度

全体事業費：55.0百万円

交付対象事業費：55.0百万円（国費：27.5百万円）

事業内容：道路、高質空間形成施設、地域生活基盤施設
提案事業（世界遺産センター活用推進事業）



都市再生整備計画

みなみありまちく
南有馬地区

ながさき みなみしまばらし
長崎県 南島原市

令和7年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長崎県	市町村名	ミナミシマハラ 南島原市	地区名	ミナミアリマ チク 南有馬地区	面積	50.0	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	9	年度	
				交付期間	令和	7	年度	～
					令和	9	年度	

<p>目標</p> <p>大目標:住み続けたい、住んでみたいまちみなみしまばら</p> <p>目標1:南有馬地区の魅力向上</p> <p>目標2:安全安心に暮らせるまちづくり</p> <p>目標3:世代を問わず暮らしやすいまちづくり</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)の考え方を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>南島原市の総人口は減少の一途を辿っており、生産年齢人口及び年少人口は減少が続いている。今後は、高齢人口は増加を続けていたが今後は減少へ転じる予想となっている。一方で、高齢化率は上昇の一途を辿っており令和15年には5割を超える見込みである。また、本市は島原市と雲仙市に隣接し、主な公共交通機関は、路線バスとチヨイソコみなみしまばらである。</p> <p>今後は、高齢者がいつまでも安心して住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指し、高齢者の日常生活に必要なサービスを受けることが困難とならないよう移動手段の公共交通の維持を図る必要がある。</p> <p>南島原市は旧8町が合併し、既に一定程度の人口集積が見られ、現状の生活サービスを維持する基礎が存在している。しかしながら、今後さらなる人口減少・高齢化の進行が予想され、効率的なまちづくりが求められる中、持続可能なまちづくりを実現させるためには、集約した地域を中心とし、求心力のある賑わいのあるまちを形成することが必要となる。</p> <p>これらを踏まえ、市全体として持続可能なまちづくりを行ううえで、コンパクトなまちづくりを行い、地域の人口密度を維持し、それらを公共交通ネットワークで繋ぐことが必要である。また、世界遺産センターの整備にあわせて原城前広場を整備し、観光資源を巡る移動拠点として来訪者が安全・安心して通行ができるよう事業に取り組む。さらに、現在整備推進中の自転車歩行者専用道路を最大限に活用し、夜間でも市民の安全が確保されるよう照明灯などの設備を充実させ、さらに健康増進、災害時の避難道路としての利活用、来訪者の観光利用など多方面の利用を推進する。以上の施策を実施することにより、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図り、賑わいのあるまちなかを創出する</p> <p>まちづくりの経緯及び現状</p> <p>本市は平成18年3月31日に深江町、布津町、有家町、西有家町、北有馬町、南有馬町、口之津町、加津佐町が合併して誕生。長崎県の南東部、島原半島の南部に位置し、南は有明海に面している。近年は農家人口の減少、高齢化、後継者不足の傾向が顕著である。今後も人口減少することが予想されており南島原市を持続可能なまちとするため、立地適正化計画を策定し、「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち みなみしまばら」を目指し集約型都市構造に向けた取り組みを行う。</p> <p>南有馬町の歴史は、現在の町域に原城を築城され、以後戦国時代から江戸時代初期にかけて、町名の由来となっている有馬氏による統治が行われる。キリスト教信者が増加したが、幕府の命により廃教し、キリスト教を迫害。その後、一国一城令により原城は廃城となり放棄された。島原・天草一揆の際籠城した城が原城である。その後、本市の南有馬地区の史跡である「原城」は、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成遺産として、平成30年に世界遺産登録された。このように、南有馬地区は、世界遺産のあるまちとして、「まの宝の未来への継承」と「南島原市の地域発展」に資する。原城跡をはじめ、その緩衝地帯を中心として市内に分布する関連遺産を継承していくため、有馬キリシタン遺産記念館を整備し関係機関や自転車歩行者専用道路担当部局とも連携しながら、官民協働で世界遺産にかかわる保存や活用に取り組んでいる。南島原市では、まちづくりの核となるよう、ガイドランス施設として「世界遺産センター」を建立し、教育委員会内に世界遺産推進室において、本地区の強味となる豊富な郷土の誇りである「原城跡」関連遺産を活かしながら、暮らしの豊かさや幸せを実感できるまちづくり「郷土の誇りを守り活かすまち」を目指す。</p> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を伝えるため原城跡来場者数を増加させる必要がある。 ・自転車歩行者専用道路の全線開通に伴い、利用者数増加による事故を未然に防ぐとともに新たな観光資源として魅力ある空間づくりが必要である。 ・歩行者や自転車利用者が安全に通行できる空間を整備し、区域内及び周辺地域への回遊性を向上する必要がある。 ・地域の魅力向上に向け、市民や観光客で賑わう場を創設する必要がある。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>南島原市立地適正化計画(令和7年3月策定)</p> <p>※令和6年12月ごろ記載</p> <p>南島原市都市計画マスタープラン(2012-2037)(平成25年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境と調和した循環型のまちづくり ・世界的な歴史遺産をはじめ郷土文化をみんなで守り活かすまちづくり ・農業をはじめとする地域全体の産業振興を図り、雇用機会を拡大するまちづくり ・地域で支えあう充実した保健・医療・福祉のまちづくり ・子育てから学校教育、生涯学習・スポーツなどが一体となった人づくりのまちづくり ・尊い生命と貴重な財産を守る防災、防犯、交通安全のまちづくり ・地域高規格道路をはじめとする交通体系や情報基盤など、便利で快適な市民生活を支えるまちづくり ・市民協働を基本に、人権が尊重され男女が平等に暮らせる社会を構築し、効果的・効率的で持続可能な行政運営を行うまちづくり <p>第Ⅱ期南島原市総合計画 後期基本計画(2023-2027)(令和5年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽の恵みと地域資源を活かし、安定した雇用を生み出す ・地域の価値を高め、多様な交流により活力を生み出す ・結婚、出産、子育ての希望をかなえる ・健康で安心して暮らせる魅力的なまちをつくる

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1:南有馬地区の魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南島原市のシンボルとなり得る自転車歩行者専用道路の中心箇所として交流人口の増加が見込まれる。そのため、市民や観光客の憩いの場を整備することにより、まちに賑わいを創出していく。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い新たな観光資源として整備を行う。 ・世界遺産を所有する地域として観光客と市民の交流の場を創出し、地域に賑わいをもたらす。 ・世界遺産センターを利用する市民、観光客の利用満足度を向上させるために広場の整備を行う。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)原城前広場整備事業 【提案事業】(地域創造支援事業)世界遺産センター活用促進事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明) 【関連事業】世界遺産センター整備事業</p>
<p>目標2:安全安心に暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全を確保するために道路整備を行い、安心して子育てができる環境を整える。 ・自転車歩行者専用道路全線開通に伴い利用者数の増加が見込まれるため、事故、事件を未然に防ぐ策として街路灯の整備を行う。 	<p>【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明)</p>
<p>目標3:世代を問わず暮らしやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備を行い、生活環境の改善を図ることにより誰もが暮らしやすい環境を整える。 	<p>【基幹事業】(地域生活基盤施設 広場)原城前広場整備事業 【基幹事業】(高質空間形成施設 照明施設) 【基幹事業】(高質空間形成施設 景観照明)</p>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	55	交付限度額	27.5	国費率	0.5
---------	----	-------	------	-----	-----

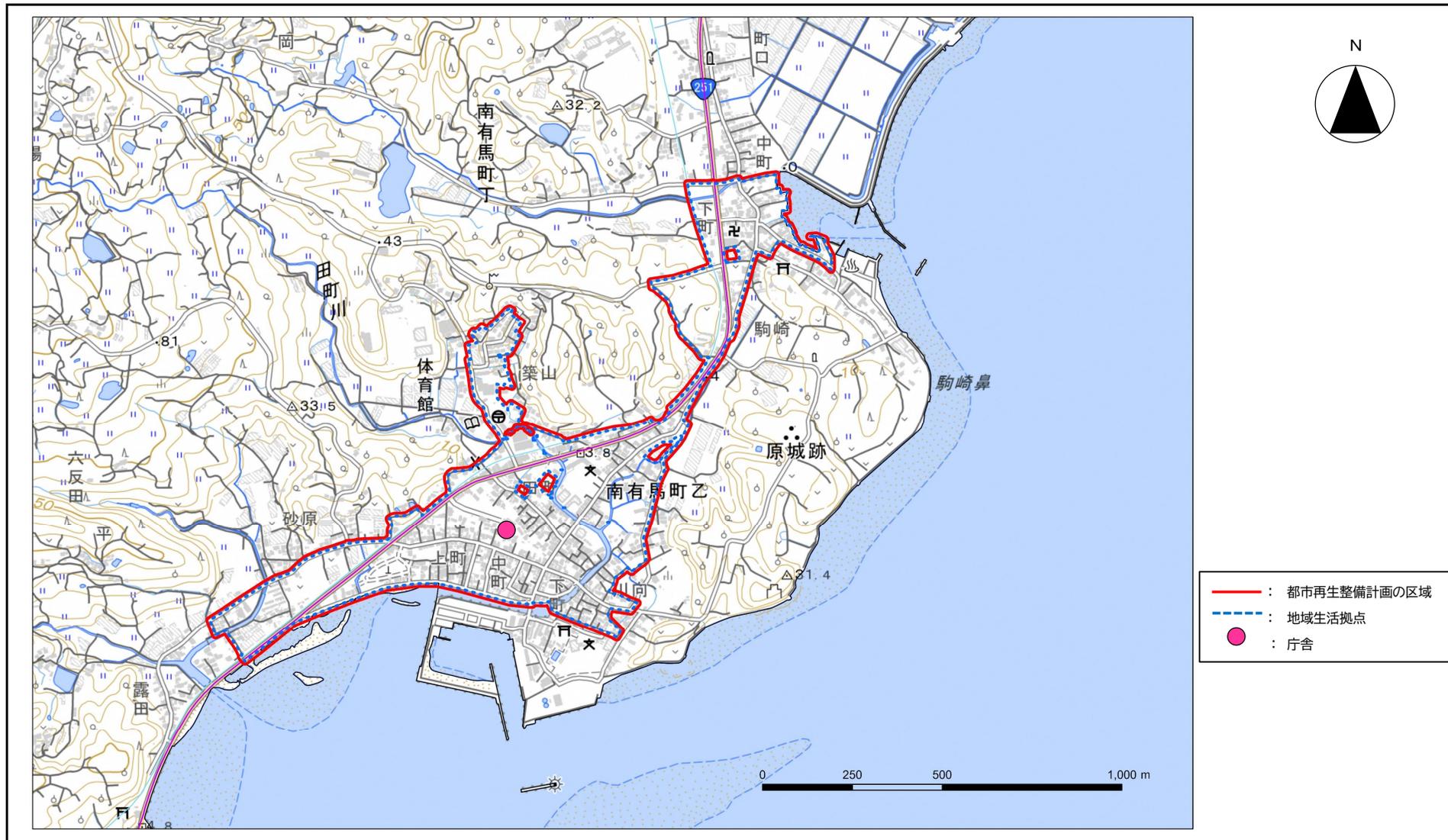
(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		市道南島原自転車道線(照明施設)	南島原市	直	2基	R7	R7	R7	R7	2.0	2.0	2.0	0	2.0	
	公園															
	古都保存・緑地保全等事業															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設	広場	原城前広場整備事業	南島原市	直	A=450㎡	R7	R9	R7	R9	37.6	37.6	37.6	0	37.6	
	高質空間形成施設		市道南島原自転車道線(景観照明)	南島原市	直	40基	R7	R7	R7	R7	7.4	7.4	7.4	0	7.4	
	高次都市施設	地域交流センター														
		観光交流センター														
		テレワーク拠点施設														
		賑わい・交流創出施設														
		子育て世代活動支援センター														
		複合交通センター														
	誘導施設	医療施設														
		社会福祉施設														
		教育文化施設														
		子育て支援施設														
		元地の管理の適正化														
	基幹的誘導施設															
	既存建築物活用事業	高次都市施設														
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地総合整備事業															
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	復興促進事業															
	エリア価値向上整備事業															
	こどもまんなかまちづくり事業															
	合計										47.0	47.0	47.0	0	47.0	…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造支援事業	世界遺産センター活用促進事業	世界遺産センター	南島原市	直		R8	R8	R8	R8	8.0	8.0	8.0	0	8.0	
	事業活用調査															
	まちづくり活動推進事業															
	合計										8.0	8.0	8.0	0	8.0	…B

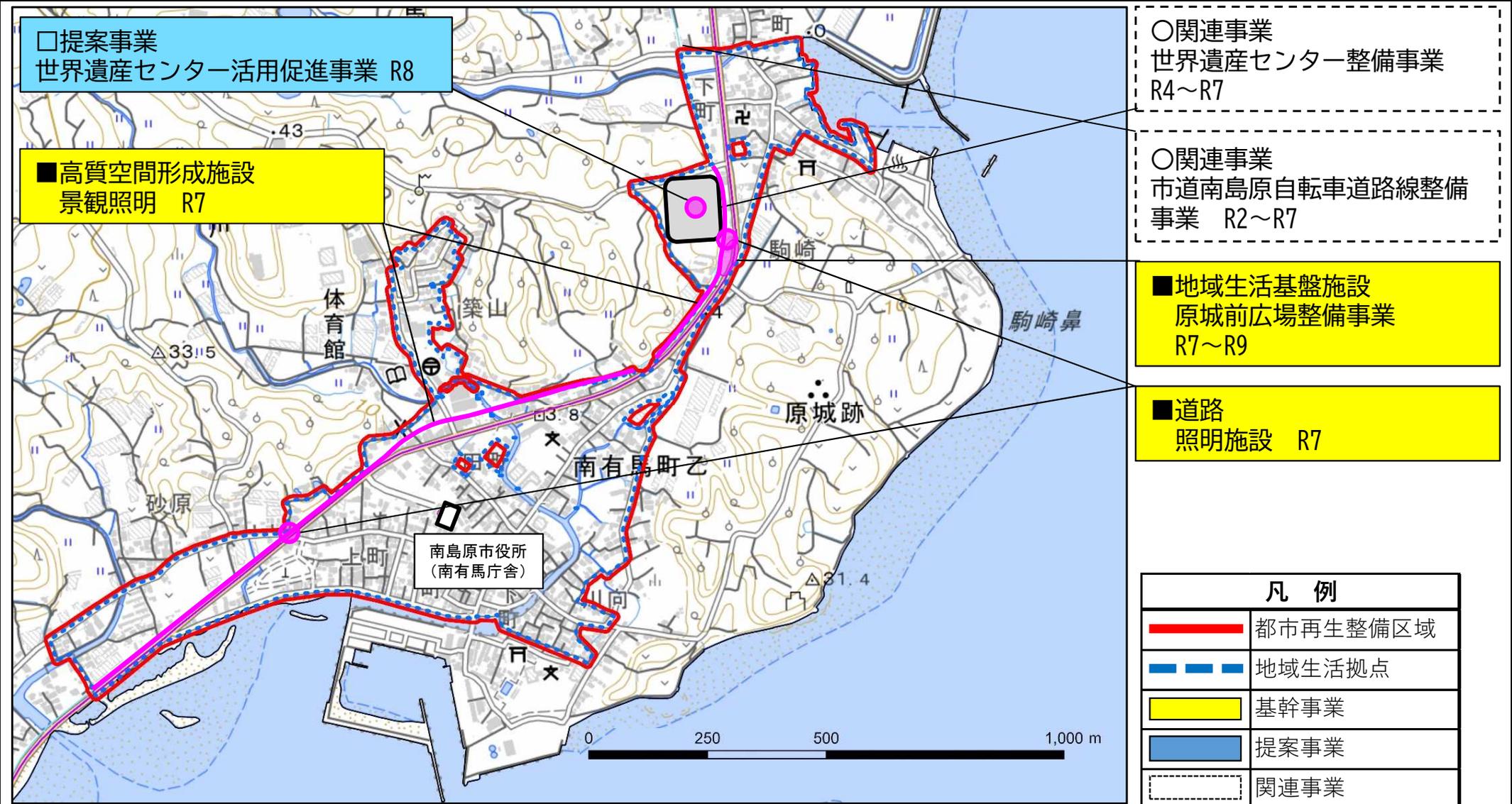
南有馬地区(長崎県南島原市)

面積	50.0	ha	区域	南島原市南有馬町乙、丁の各一部
----	------	----	----	-----------------



南有馬地区(長崎県南島原市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標:住み続けたい、住んでみたいまちみなみしまばら	代表的な指標	まちの暮らしやすさ (%)	17.8	(R5年度)	→	18.4	(R9年度)
	目標1:南有馬地区の魅力向上		史跡原城見学者数 (人)	35,005	(R5年度)	→	60,000	(R9年度)
	目標2:安全安心に暮らせるまちづくり							
	目標3:世代を問わず暮らしやすいまちづくり							



□提案事業
世界遺産センター活用促進事業 R8

■高質空間形成施設
景観照明 R7

○関連事業
世界遺産センター整備事業 R4~R7

○関連事業
市道南島原自転車道路線整備事業 R2~R7

■地域生活基盤施設
原城前広場整備事業 R7~R9

■道路
照明施設 R7

凡例	
——	都市再生整備区域
——	地域生活拠点
■	基幹事業
■	提案事業
□	関連事業